

患者様各位 友愛医療センターにおける呼吸器内科疾患治療成績の疫学的評価研究 に関するお知らせ

研究の背景

呼吸器内科の代表的な疾患である肺がん、細菌性肺炎、間質性肺炎、喘息、COPDなどは、患者様の生活に重大な影響を及ぼし、治療においては多くの課題が存在します。これらの疾患は、沖縄県豊見城市においても健康に関連する問題として深刻な影響を及ぼしており、地域の医療機関においても多くの患者様が診療を受けています。当院は、呼吸器内科の専門医や熟練した医療スタッフを備えた施設として、これらの呼吸器疾患の治療に尽力してまいりました。しかし、臨床実践においては常に新たな知見が求められ、患者様への最適なケアを提供するために治療効果を向上させる必要があります。この背景から、研究の目的として治療成績の詳細な評価と改善を掲げ、地域特有の要因を考慮に入れた治療の最適化を追求する意義があります。

研究の目的

本研究の主要な目的は、当院における呼吸器内科の代表的な疾患である肺がん、細菌性肺炎、間質性肺炎、喘息、COPDなどの治療成績を詳細に調査し、治療の質向上に寄与することです。具体的には、治療成績を客観的に評価し、今後改善の余地があるかどうかを明らかにします。さらに、地域特有の要因や文化的背景を考慮しながら、地域社会に最適な医療ケアを提供するための情報を収集し、治療の最適化を図ることを目標とします。

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者：友愛医療センター呼吸器内科を受診し（外来・入院は問わず）、肺がん、細菌性肺炎、間質性肺炎、喘息、COPDなどの疾患を有する患者様

期間：2018年10月1日～ 2026年7月31日

研究に際し行うこと

研究のための特別な検査・投薬・治療等はありません。通常の診察 および治療を継続し、その際の検査データや画像データを参考に解析することで、最適な治療の方向性を見出します。

研究に伴う患者様の負担・不利益

通常の診療を行うだけなので、研究のための患者様の金銭的負担は一切ありません。また研究のための検査や投薬は一切行いません。研究を行うことで生ずる副作用等の増加はありません。

患者様の人権擁護

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。

御不明な点は、主治医・看護師または下記までお尋ねください。
皆様の御協力に感謝致します。

連絡先

社会医療法人友愛会 友愛医療センター

呼吸器内科 穴井 諭

電話：(代表)098-850-3811